# ·I|III|II CISCO

# TV ディスプレイでの操作

ユーザー ロール:管理者(Administrator),施設管理者(Venue Administrator)

このモジュールでは、Cisco Vision Director での TV ディスプレイのセットアップに関する情報を記載しています。

### ユーザー TV の制御

Cisco Vision Director では、あらゆるメディア プレーヤー タイプ向けに、すべてのユーザー TV コントロールメソッドのサ ポートがデフォルトで有効になっています。これにはローカル制御のデバイスやアプリケーション、IP Phone、タッチ スク リーン、および赤外線リモート(IR)制御を使用した TV ディスプレイの制御が含まれます。

施設によっては、特定のイベントまたはスイートのユーザー TV コントロールを無効にするか、または TV で特定のチャネル を表示したりボリュームを制御したりすることを制限する必要があります。

### TV コントロールアクセス

[Configuration] > [TV Off Configuration] を使用して、TV 電源コントロールにすばやくアクセスできます(図 1(49 ページ))。このインターフェイスは、電源をオフにするデバイスのゾーンおよびグループがある場合に特に効果を発揮します。 [Zones & Groups] インターフェイスの使用については、ゾーン、グループ、ロケーションでの操作(69 ページ)で詳しく説明 されています。

#### Gisco Vision Dynamic Signage Director Attends + ± 1 TV Off Configuration Austratio Zones 12-2 hoj 2me A lord river 1 A 1011 (mm 2 A liter stars 3 -Australia quite ines. Ē Anisy into 22 Las Zire 1 Parks bet in permighter over 2

#### 図 1 [TV Off] インターフェイス

TV のゾーンの電源をオフにするには、次の手順を実行します。

- 1. 左側パネルのリストから [Available Zone] を選択します。
- 2. 右モーション矢印 をクリックして、その [Available Zone] を [Assigned Zones] リストに割り当てます。あるリストから 別のリストに移動する特定のゾーンまたはゾーンの範囲を選択するには、Ctrl キーと Shift + Ctrl キーを使用します。

ユーザー TV の制御

- 3. [Cancel] をクリックして、最近の変更を元に戻します。
- 4. [保存(Save)]をクリックします。[Save]をクリックしないと、すべての変更が失われます。警告ボックスは表示されません。

変更が表示されない場合は、左上の [Refresh] アイコンをクリックします。[Confirmation Refresh] ボックスが表示されます (図 2(50 ページ))。

どちらのリストも全面的にソートすることが可能です。[Name] をクリックしてソートします。

#### 図 2 ゾーン割り当ての更新の確認



#### ゾーン内の TV をオフにするには、次の手順を実行します。

1. [More] > [Turn TVs Off] を選択します(図 3(50 ページ))。確認用のダイアログボックスが表示されます(図 3(50 ページ))。

2. [OK] をクリックします。

#### ☑ 3 [More] > [Turn TVs Off]

i	Af vieward
	we this cat
	lacage Software
	ymm Ram Report
1	MP Competent

#### **4** [Confirm Turn TVs Off]



情報ダイアログボックスが表示され、Turn TVs Off コマンドが Cisco Vision Director に正常に送信されたことが通知されま す。その後、自動生成された電子メールがアクションを実行したロールに送信されます(図 5(50 ページ))。

#### 図 5 TV オフの電子メール通知



TV ディスプレイの仕様

# TV ディスプレイの仕様

Cisco Vision Director により、メディア プレーヤーと TV との間の適切な通信を確保するために、施設で使用されている TV に対して特定のコマンドと属性を設定することが要求されます。この設定は、ディスプレイ仕様と呼ばれるもので定義されています。

デフォルトでは、Cisco Vision Director には、いくつかの一般的な TV ディスプレイ モデルのディスプレイ仕様が含まれてい ます。ご使用の TV ディスプレイ モデルがデフォルトの仕様に含まれていなければ、そのモデルを追加して設定します。

固有の TV タイプごとに、TV の制御に使用するコマンドに基づく別のディスプレイ仕様が必要です。場合によっては、特定の 製造元からのすべての TV は同じディスプレイ仕様を使用できます。別のケースとして、同じメーカー製の異なる TV モデル がそれぞれ異なるディスプレイ仕様を必要とする場合もあります。

**注**:ベスト プラクティスとして、TV ディスプレイ仕様の設定は、Cisco Vision Director でロケーションを設定する前に行います。ロケーションを設定するときは、物理的に設置されている TV タイプの「ディスプレイ仕様 ( プランド/モデル )を選択する 必要があります。

# クローズド キャプション

すべてのデジタル TV 放送局が一般的に従うクローズド キャプション(CC)の標準規格は、CEA( Consumer Electronics Association:全米家電協会)-608 と CEA-708 です。図 6(51 ページ)に、米国 CC 標準を示します。

重要: クローズド キャプションは、北米以外の地域では、欧州を含めどの地域でも機能しません。

図 6 Cisco Vision Dynamic Signage Director でのクローズド キャプションのサポート



この標準規格は一般に、サービス プロバイダが提供するすべてのブロードキャスト チャネルでサポートされます。Cisco Vision Director は、クローズドキャプション CC1-CC4 のサポートを Cisco デバイス上で自動的に有効にします。

# コンテンツの向き

Cisco Vision Director のすべてのコンテンツのデフォルトの向きは、横方向モードです。

縦方向形式でコンテンツを手動で作成し(*静止画*のみ)、それを回転させることができます。[TV Display Specification] で、縦 方向モードのコンテンツの自動回転を設定します。 縦方向モードの自転回転のガイドライン

- 縦向き設置のディスプレイで、DMP がコンテンツを正しい向きに自動的に回転する。
- 1 台の TV ディスプレイに対しあらゆる種類のコンテンツをサポート。
- 複数の縦方向モードの表示画面に渡るコンテンツのスケーリングは、マルチキャスト ストリーミング ビデオのみサポート。
- [Configuration] > [Devices] インターフェイスで TV の [Display Specifications] を設定するときに、[Display Parameter]の「dmp.portrait=true」を使用して有効にします(図 7(53 ページ))。

注:DMP 縦方向モードは UHD(4K)ビデオには使用できません。縦方向モードと自動回転の使用に関する詳細については、 『Cisco Vision Content Planning and Specifications Guide, Release 6.4』を参照してください。

**重要**:縦方向ビデオの再生を予定している場合は、次に挙げるような他のすべてのセカンダリシステムタスクを考慮してください。

- ティッカー、HTML グラフィック、大容量の画像ファイルなどのグラフィック操作
- ネットワークトラフィック(大規模または頻繁なネットワーク更新の実行)
- USB オーディオ

これらのタスクは、DMPのハードウェア制限との間で相互に影響を及ぼします。これらのセカンダリタスクを削減または排除するか、よりパフォーマンスの優れた DMP モデルにアップグレードしてください。

コンテンツの回転には大規模な処理が必要なため、再生パフォーマンスは横方向表示と同等ではありません。表 1(52 ページ)に、Cisco Vision DMP のいくつかの基本的なガイドラインを示します。

#### 表 1 DMP の再生ガイドライン

DMP モデル	縱方向再生
CV-UHD2 CV-UHD	60p で縦方向の HD ビデオ(1080 x 1920)を出力できます。 最大 2 つの縦方向のビデオウィンドウがサポートされています(ソースファイルと出力の両方で 最大 60p)。ただし、すべてのビデオウィンドウの合計エリアが 1080 x 1920 を超えないようにす る必要があります。
CV-HD2 CH-HD	60p で縦方向の HD ビデオ( 1080 x 1920 )を出力できます。 ソース ビデオのフレーム レートは 30p を超えないようにする必要があります。

注:縦方向モードは、CV-HD および CV-HD2 DMP の場合には推奨されません。CV-UHD および CV-UHD2 プレーヤーの場合、シングルまたはデュアルビデオ再生は良好に機能することが多いですが、再生の問題が発生する可能性があります。

**重要:**プレーヤーでビデオソースをテストして、再生中にビデオサイズとビデオエンコーディングに問題が発生しないことを 確認します。 コンテンツの向き

DMP モデル	リージョン	パラメータ
すべてのモデル	単一リージョン	マルチキャストビデオ、ローカル ビデオ、全画面縦方向 Web アプリケーション
		(Kyoto Signage アプリケーション)全画面縦方向ビデオファイル( 1080 x 1920)
		注:UHD モード(3840 x 2160)および全画面表示縦方向ビデオを使用する場合の既 知の問題。
		全画面縦方向画像( 1080 x 1920 )
		全画面混合プレイリス ト( 外部コンテンツ、1080 x 1920 のビデオファイル、
		1080 x 1920 の画像)
		<b>注:</b> UHD モード(3840 x 2160)および全画面表示縦方向ビデオを使用する場合の 既知の問題。
すべてのモデル	デュアルリー ジョン	マルチキャストビデオ + 静止画像プレイリスト
すべてのモデル (CV-HD と	デュアルリー ジョン	マルチキャストビデオ + マルチキャストビデオ
(CV-HD2 を除く)		ローカル ビデオ ファイル プレイリスト + ローカル ビデオ ファイル プレイリスト

#### 表 2 縦方向モードのパラメータ

### DMP コンテンツの柔軟な回転

コンテンツを 90 度および -90 度(+270 度)回転させることができます。この機能は、ビデオ、静的イメージ、ウィジェット、 ローカルおよびマルチキャスト ビデオ、外部 URL といったすべてのコンテンツで有効です。すでにディスプレイ モニターが 縦方向に設置されている場合はその状況に合わせ、適切な向きでコンテンツを表示するには、コンテンツを回転させます。

#### 縦方向モードにコンテンツを回転するには、次の手順を実行します。

- 1. [Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] をクリックします。
- 2. 左側のパネルのリストから特定のディスプレイを選択し、右側のパネルの [Display Parameters] タブをクリックします (図 7(53 ページ))。
- 3. [+] アイコンをクリックして、新しいディスプレイパラメータを追加します。[Create Display Parameter] ダイアログボッ クスが表示されます(図 & 54 ページ))。

#### 図 7 表示パラメータへのコンテンツ回転値の追加

Hote Chico Vision	Dynamić Sł	grage Desizar	0 1	8 W % 0	Alter r = A
U Devices	And in case of	and all and	and least in the local sector		
		COMPANY COMMANY	the second lines	Parameters -	
and the first of the	-	-			4
· marinesen month	Care -	Long-March Street	Party Terrenter	Configured Bake	
C Internet Internet		64 43 2MT	-	All Contractor and	
Compare No. 45, 1012		AND AND DATE	-		
-		0.12	Sectore 1	All a constant and a second	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Sec. 1	10000	Section 2		
I Ingenetic Land	244	1000.000	1	Comment of	
PRI Distanti Contracti	100	100.000	Antonia Service	All A sold receptions	
P. Statement	line .		Pro State State State	<ul> <li>PERMIT Products in Recomment</li> </ul>	
Andrea Starty	And Street of Concession, Name			(in the set	
Advest Marchine	Aren:	8.945	-	1.000	

**4.** 必要とする適切な回転値が得られるように、「dmp.portrait」または「dmp.portrait.clockwise」と入力して「true」に設定します。

#### コンテンツの向き

図 8 新しいディスプレイパラメータの作
----------------------

Create Display Parameter	~
form.	
Configured Dates	
Caved	

デフォルトでは、dmp.portrait を使用してコンテンツに「true」を設定すると、コンテンツは 90 度回転します。 dmp.portrait.clockwise を「true」に設定すると、コンテンツは 270 度 -90 度 迎転します。

注:このパラメータを設定するには、DMP をリブートします。[Configuration] > [System Configuration] > [Scheduled Tasks] > [Reboot DMP Task] をクリックします。

次の図に、90度および-90度回転させたコンテンツを示します。時計回りと反時計回りを使用します。



注:DMP 縦方向モードは UHD ビデオには使用できません。

#### 歪んだ縦方向モード表示

**重要:**DMP が縦方向モードでマルチキャストビデオをストリーミングしている場合、表示が歪むことがあります。この場合、 scaleToFit.video の DMP レジストリが<sup>T</sup> true」に設定されていることが原因である可能性があります。デフォルトでは、この レジストリは存在しないか、「false」に設定されています。レジストリを true に設定しなければならない顕著な理由がある場 合は、デフォルトを縦方向モード URL を使用したマルチキャストストリームから、代わりに Web ページを使用するなど、別 の方法に変更します。



縦方向ディスプレイ用に別のデフォルト URL を設定するには、次の手順を実行します。

- 1. [Configuration] > [System Configuration] > [Dynamic Signage Director Settings] をクリックします。
- 2. コンテンツが引き伸ばされないように、[Default portrait content URL]の [Value] を HTML を使用するための値に変更します。

#### HDMI-CEC

System Configuration			
Karlen and States (Sector Sector) (Sector)	O B Conference	-	
Le Mail Reprint Galaxy ()     Le Mail Stragetory Carlos ()	Tarlant trainings control (20) Tarlant passed control (20)	where the first state of the second	
Binging low (f)     Sourcestant low (f)	3 Joing Chymro 4 Antonau y Dayney Sonio Theorem, Trayng Dancier Smith Kaung 1 Marin Chalanne et Vin Channess 1	24 25 year No. 24 year 16 year Josef Hann 16 year 16 year	

### HDMI-CEC

HDMI Consumer Electronics Contro( CEC )のサポートでは、次の3つの TV 機能を制御できます。

- 電源オン(Power On)
- スタンバイ(電源オフ)
- 電源ステータス(Power Status)

HDMI CEC TV コントロールを有効にすると、TV の制御機能に HDMI CEC が RS-232 に代わって使用されます。TV を制御す るには、[Device Management] インターフェイスから **TV On** および **TV Off** コマンドを実行します。[Get Status] ドロップダ ウン矢印を使用します。

次に挙げる2つの方法のいずれかを使用して、HDMI-CECTVコントロール向けにTVディスプレイを設定できます。

- HDMI-CEC 標準ディスプレイ仕様を新しい TV に適用する。この場合、HDMI/CEC パラメータは自動的に有効になり、デフォルト値に設定される。
- 既存のディスプレイ仕様を変更して、HDMI-CEC ディスプレイ パラメータを手動で設定する。

HDMI/CEC TV コントロールでは次のコマンドが使用されます。

- dmp.powerQueryByCEC:RS-232の代わりに HDMI/CEC を使用した、TV 電源ステータスを取得するための powerQuery の有効化。
- dmp.TVControlbyCEC:RS-232 の代わりに HDMI/CEC を使用した TV 制御を有効化。
- dmp.monitorAPIDelay: Dynamic Signage Director から HDMI CEC 経由で TV に送信される powerQuery コマンドの 頻度。デフォルトは 120000 ミリ秋 2 分間)。このコマンドは、TV コントロールを RS-232 で使用する場合もサポートされる。
- dmp.monitorPower: Dynamic Signage Director で [Device Management] から Get Status コマンドを使用して、TV に 対する powerQuery コマンドの実行が可能。このコマンドは、TV コントロールを RS-232 で使用する場合もサポートさ れる。
- dmp.hdmiStreamingDelay:DMP がコマンドを受信してからストリーミングを停止する時間 ミリ秒単位 を示す。定義 されていない場合、デフォルトは 500(ミリ秒)。通常、このパラメータを定義する必要はない。

RS-232 通信用のディスプレイパラメータ

赤外線リモコンによって開始された HDMI ストリーミングの操作に対しては、このパラメータは、コマンドによる DMP の頻 繁なクラッシュを防ぎます。[Display Specifications] でこのパラメータに値が設定されていない場合、デフォルトは 5000 ミ リ秒です。

これはパラメータ「Ratelimit.Frequency.High」に似ています。唯一の違いは、このパラメータがローカルコントロール API を 介して発行された HDMI ストリーミング操作用であることです。

### HDMI-CEC をサポートする TV の必要条件

注:一部の TV は標準 HDMI-CEC コマンドをサポートしていません。HDMI CEC に対応しているかを確認するため、設置予定 の TV モデルをテストします。HDMI-CEC をオンにします。TV メーカーは、CEC をそれぞれの商標名で呼んでいます。たとえ ば、Anynet+( Samsung ) BRAVIALink( Sony ) EasyLink( Phillips ) および SimpLink( LG )などです。

注:HDMI-CEC は独自のリンク機能であるため、RS-232 と同じコマンド セットをサポートしていません。

HDMI CEC 対応のテストが正常に行われた TV の詳細については、『Cisco Vision Dynamic Signage Director Release Notes for Release 6.0.』を参照してください。

# RS-232 通信用のディスプレイパラメータ

RS-232 コマンドを使用して、オン/オフ、ミュート、ボリューム調節、および外部入力などの TV 機能を制御できます。このコマンドは、さらに特殊なシナリオでは、TV タイル マトリックス機能の設定にも使用できます。

RS-232 応答は、TV の現在のステータスを取得するために使用されます。現在のところ Cisco Vision Director は、TV に現行の電源オン/オフステータスのクエリを実行する場合にのみ、応答を使用します。

TV が RS-232 や他の方法で制御できない状況では、代わりにメディア プレーヤーでボリュームとミュートを制御できます。 この動作は sigma= で始まるボリューム調節とミュートのコマンドを設定することで指示されます。

# RS-232 TV コントロール用のディスプレイパラメータ

表 3(56 ページ)に、DMPのディスプレイパラメータの概要とRS-232 コマンドおよびそれぞれのサンプル値を示します。これらの値は、入力するデータタイプの例として記載されています。

注:TV ディスプレイのモデルによっては、特定の RS-232 コマンドのみをサポートしている場合があります。この表にあるコマンドは、LG 19LH20 TV ディスプレイによりサポートされています。ディスプレイのモデルごと、さらにはソフトウェアバージョンごとに、異なる設定が必要になる場合があります。

重要:適切な入力値については、TV ディスプレイの製造元にお問い合わせください。

#### 表 3 DMP ディスプレイパラメータ

コマンド名	値
dmp.AVInputQuery	rs232.tx_hex=6B622030312046460D
dmp.displayPwrOnResponse	rs232.tx_hex=61203031204f4b303178
dmp.displayPwrQuery	rs232.tx_hex=6B612030312046460D
dmp.hdmiStreamingDelay	5000
dmp.Input1response	rs232.tx_hex=62203031204F4B303878
dmp.Input2response	rs232.tx_hex=62203031204F4B303278
dmp.Input3response	rs232.tx_hex=62203031204F4B303478
dmp.Input4response	rs232.tx_hex=62203031204F4B303078

#### RS-232 TV コントロール用のディスプレイパラメータ

dmp.monitorAPIDelay	120000
dmp.monitorAVInput	true
dmp.monitorMute	true
dmp.monitorPower	true
dmp.monitorVolume	true
dmp.muteOnResponse	rs232.tx_hex=65203031204F4B303078
dmp.muteQuery	rs232.tx_hex=6B652030312046460D
dmp.portrait	true
dmp.powerQueryByCEC	false
dmp.quadVideo	true
dmp.SerialDelay	250
dmp.SupportsTouchScreen	false
dmp.TVControlByCEC	false
dmp.volumeQuery	rs232.tx_hex=6B662030312046460D
dmp.volumeResponseFormat	rs232.tx_hex=66203031204F4B5F5F78
Input1	rs232.tx_hex=6B622030312030390D
Input1Name	HDMI
Input2	rs232.tx_hex=6B622030312030320D
Input2Name	Composite
Input3	rs232.tx_hex=6B622030312030340D
Input3Name	コンポーネント
Input4	rs232.tx_hex=6B622030312030300D
Input4Name	TV
Mute	rs232.tx_hex=6B652030312030300D
Off	rs232.tx_hex=6B612030312030300D
On	rs232.tx_hex=6B652030312030310D
Unmute	s232.tx_hex=6B652030312030300D
Volume1	rs232.tx_hex=6B662030312030350D
Volume10	rs232.tx_hex=6B662030312035300D
Volume11	rs232.tx_hex=6B662030312035350D
Volume12	rs232.tx_hex=6B662030312036300D
Volume2	rs232.tx_hex=6B662030312031300D
Volume3	rs232.tx_hex=6B662030312031350D
Volume4	rs232.tx_hex=6B662030312032300D
Volume5	rs232.tx_hex=6B662030312032350D

rs232.tx_hex=6B662030312033300D
rs232 tx_hex=6B662030312033350D
rs232 ty hey=6B662030312034300D
13232.tx_nex=0D002030312034300D
rs232 ty bey-6B662030312034350D
13232.tx_11ex=0D002030312034330D
10
12

# 録音のボリューム調節

Cisco Vision Director で正しく設定すると、ボリューム調節は IP フォン、赤外線リモコン、[Device Management]、またはイベ ントスクリプトステートの変更などの方法から実行できるようになります。プライマリビデオ音声のボリューム調節は、 SPDIF(SV-4K、CV-UHD、CV-UHD2のみ)、アナログ音声、および HDMI 出力ポートに対して行うことができます。ただしこれ は、TV ディスプレイ仕様の [Volume Strategy] が [Internal] に設定されている場合に限ります。

### Volume Strategy のオプション

Cisco Vision Director は、3 つのボリューム方式の設定をサポートしています(図 9,58 ページ)を参照)。

#### デバイスの音量を選択するには、次の手順を実行します。

- 1. [Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] > [Basic Info] に移動します。
- 2. [Volume Strategy] プルダウン矢印を使用して、ボリュームを選択します。
- 3. [保存(Save)]をクリックします。

#### 図 9 [Display Specifications]:[Volume Strategy] オプション

Ander Contro Vescere	Dynamic Sig	turdis Dillictor	H C O H H S O	L.
Devices Localizes & DAPo	Constants	are Plant i	artised Data Sections	
1 - # 0			The Associate Property of Control	
Finite Statistics	-	and .	and the second se	
Annual Property of	-	And the second s		
Chargement and	104	(manufacture)	Discriming Autobios 12 con tracillations daplay	
ADM/DUTWINK	-			
August 11, 42, 211	11111	44.43.520		
100000-01-010 (P.C.	(reality)	10-00.002	Multi PETERRE 45.25	
mapping of Long.	and the second s	89-1016-005		_
101000	10	16.00	Verna Hung that a	-
100-00-010-	100	100.000	and a second sec	
Terrary Store 1	freedown and a second	Compile St.		
Service Sector	Sec.	PRODUCT :		
Barg-Mill-1, 2010.	these lines	(and a state		
Bas-80 -000100	free .	1.400.000.00		
Service American	iner.	- Contraction and		
Service Benchmit	dare .	100.000		
ing the latting	ine .	449,00000		
	teres .			
Supervise and the local	formal .	- 819.0		

[Internal]:音声フィードの音量レベルは、信号を送信する音量の大きさを DMP に通知することで制御します。[Internal] を指定すると、Cisco Vision Director で(IP フォン、赤外線リモコン、[Device Management]、またはイベントスクリプトステートなどにより)音声入力のボリューム調節ができるようになります。

[External]:[External] を使用して、DMP が送信したレベルをそのまま維持します。DMP は接続されている TV に RS-232 を介 して音量レベルを変更するコマンドを送信します。

注:ほとんどの TV には DMP よりも広い音声範囲が備わっており、多くの TV では音量の変更をインジケータで視覚的に示す ため、外部 [External] )音量方式をお勧めします。この方式により、TV のパネル ボタンまたは TV リモコンを使用して音量を 変更する場合の問題を避けることもできます。

[None]:音量は調節できません。これは、TV はビデオ専用とし、音声があればそれを個別に提供する場合に役立ちます(バーなどでオーバーヘッド システムで音声を提供する場合)。

# TV ディスプレイ仕様の設定方法

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- RS-232 コマンド設定のガイドライン(59 ページ)
- TV ディスプレイ仕様の基本情報の設定、(59 ページ)
- タッチ スクリーンのサポートの設定(62ページ)
- タッチ スクリーンのサポートの設定(62ページ)

### RS-232 コマンド設定のガイドライン

TV ディスプレイ仕様の RS-232 コマンドの設定時には、次のガイドラインを考慮してください。

- Cisco Vision Director では、イベントの状態ごとに1つの RS-232 コマンドのみサポートする。
- Cisco Vision Director で設定するすべての RS-232 コマンドは、プレフィックス rs232.tx\_hex= を必ず使用する。
- RS-232 応答を使用して、TV の現在のステータスを取得する。
- RS-232 応答は、常にプレフィックスなしで設定する。
- Cisco Vision Director は、TV に現行の電源オン/オフ状態ステータスのクエリを実行する場合にのみ、応答を使用している。
- TV が RS-232 や他の方法で制御できない状況では、代わりにメディア プレーヤーでボリュームとミュートを制御できます。

### TV ディスプレイ仕様の基本情報の設定

ユーザー ロール:管理者(Administrator)

#### TV ディスプレイ仕様の基本情報を設定するには、次の手順を実行します。

- 1. [Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] に移動します(図 9(58 ページ))。
- 2. 次のいずれかを実行します。
- 既存のディスプレイ仕様を選択します。
- [+] アイコンをクリックして、新しいディスプレイ仕様を追加します。

3. 表 4(59 ページ)を参照し、[Basic Info] パネルでオプションを指定します。

#### 表 4 TV ディスプレイ仕様の基本オプション

オプション	説明
Name	TV タイプをロケーションに追加するときに [Display Spec] ドロップ ダウン リストに表示される名前。
	<b>ヒント</b> :この名前は必ず一意で、定義する TV のタイプが容易にわかる ものにする。
Description	TV ディスプレイ仕様を説明する任意のテキスト文字列。

オプション	説明
Make	TV のメーカー/ブランド名。
Model	このディスプレイ仕様が適用されるブランドのモデル。
	単一のモデル タイプまたはモデルのグループの指定が可能。あるいは 「すべて( All )」を選択して、そのブランドのすべての TV が同じディス プレイ仕様を使用するように指定することも可能。
Volume Strategy	TV のボリュームを調節する方法を指定する。設定可能な値:
	[Internal]:ボリュームは IP フォン、赤外線リモコンなどを使用して制 御されます。
	[External] :シリアル コマンドをメディア プレーヤーから TV に (RS-232 経由で )送信することにより、ボリューム調節ができます。
	[None]: 音量を修正するため、調整することはできません。
	詳細については、録音のボリューム調節(58 ページ)を参照してくだ さい。

- 4. [Save] をクリックします。
- 5. 設定を DMP に適用します。

注:DMP を再起動します。

#### TV ディスプレイ仕様の HDMI-CEC TV コントロールの設定

ユーザー ロール:管理者(Administrator),施設管理者(Venue Administrator)

新しい TV に HDMI/CEC 標準規格ディスプレイ仕様を適用することも、既存のディスプレイ仕様を変更してディスプレイ パ ラメータ コマンドを個別に追加することもできます。

HDMI/CEC 標準規格ディスプレイ仕様を使用すると、TV 制御用の 4 つの関連 HDMI-CEC コマンドが有効になり、対応する デフォルト値に設定されます。

HDMI-CEC ディスプレイのパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

- 1. [Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] に移動します。
- 2. 既存のディスプレイ仕様を選択するか、新しいディスプレイ仕様を追加します。
- 3. [Display Parameters] タブをクリックします。
- 4. 次のパラメータを見つけて設定します。

ディスプレイ パラメータ	值
dmp.powerQueryByCEC	[True]:RS-232 の代わりに HDMI/CEC を使 用して、TV 電源ステータスを取得するために powerQuery の実行が可能。
	[False]:HDMI-CEC を使用して powerQuery を無効にする。
	注:このコマンドをサポートしない TV モデル もあります。
dmp.TVControlbyCEC	[True]:RS-232 の代わりに HDMI-CEC を使 用して TV コントロールを有効にする。
	[False]:HDMI-CEC TV コントロールを無効に する。
dmp.monitorAPIDelay	Dynamic Signage Director により送信される powerQuery コマンドの頻度( ミリ秒単位 )。 HDMI/CEC 標準規格ディスプレイ仕様のデ フォルトは 120000 ミリ秋( 2 分間 )。
dmp.monitorPower	[True]:Dynamic Signage Director で [Device Management] から Get Status コマンドを使 用して、TV に対する powerQuery コマンドの 実行が可能。
	[False]:オプションを無効する。
dmp.SupportsTouchScreen	[True]:Dynamic Signage Director で DMP に 接続された USB HID デバイスのサポートが 可能。
	[False]:オプションを無効する。
dmp.hdmiStreamingDelay	値(ミリ秒)によって遅延を決定。

注:[Device Management] から [Get Status] コマンドを実行して、DMP に認識されている最新の TV 正常性ステータスを取 得できます。この情報は、powerQuery が最後に実行された時点に応じて、最大で 2 分前のものになる場合もあれば、数秒前の ものになる場合もあります。

「dmp.monitorPower」パラメータが false に設定されていると、正しい TV 正常性ステータスは取得されません。

5. [Save] をクリックします。

6. DMP をリブートします。

### タッチ スクリーンのサポートの設定

HTML5 ページでタッチスクリーンを適切に動作させるには、タッチスクリーン デバイスがヒューマン インターフェイス デバイス(HID)に準拠し、標準的な HID ドライバを使用していることを確認します。

注:製造元によっては、HID のサポートを謳っていながらカスタム ドライバを使用している場合があります。標準の HID ドラ イバが使用されることを確認します。

デフォルトでは、Cisco Vision Director の場合、ディスプレイパラメータは *false* に設定されています。デバイスと DMP 間で タッチスクリーン機能を有効にするには、それを変更する必要があります。

特定のデバイスのタッチスクリーン機能を有効にするには、次の手順を実行します。

1. Cisco Vision Director で、[Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] に移動します(図 10(62 ページ))。

#### 図 10 ディスプレイ仕様の設定

104	Citoro Visitin	Dynamic Signay	e Director	8 0 8 H L 0	$a_{\rm Ham} \to = \pm$
0	Devices Instant & Ders	Louise 189 Marris	Prices Lond Lond	Citala Sandhamo	
-	1			Sani Alto	
	The Space and Sp	-		deart-fame Accessed Propiel A.M.25	
		Accessory in the local data	And and the Real Property lies.		
	Dist Community Do bot		Construction of the local division of the	Constitute Account of the International States	
	- Cartilly barraid			Max months	
	and the second second	1000	10.42,422		
	heyes 10 47,200	toget .	NO-002200	Anni Pazzika Al-25	1
	1000 M 127-10	The second secon	heles (200-100	and the second se	
	all month	-	1040	and much that	
	10.03	140	10.00	designed to be a set of the set o	
	Tarrent (010)/1-0-1	10000	1000/100	Contraction of the local division of the loc	
	Bern Film Madel	100	THE ALES		
	Berg 200-10001	day .	pination 1		
	Samples internet	100	Man Sector 1		
	504-103-a000-00	10.0	100 million (10		
	BA11712 AMILIAN	then .	10.000		
	Anny Std. Americals	100	10,000		
	Same along	Acres 1	100		

2. デバイス画面のディスプレイ仕様を作成します。この情報については、デバイス仕様を参照してください。[+] アイコンを 使用して新しい仕様を作成します。

または、デバイスのリストを下にスクロールします。型式とモデルを検索して選択します。

- 3. [Display Parameters] タブをクリックします。
- 4. 下にスクロールして dmp.SupportsTouchScreen を選択します。
- 5. [Edit] アイコンをクリックします。[Edit Display Parameter] ボックスが表示されます(図 11(62 ページ))。
- 6. [Edit Display Parameter] ボックスでデバイスに設定されている false を「true」に変更します。

#### 図 11 [Edit Display Parameter] ダイアログボックス

Edit Cliquitry Participation > drigs (SupportsTouch/Scream		
Configured Relia Configured Relial Instit	₹	
4 -		
H.C.		
0	Central Card	

**7.** [Save] をクリックします。

この機能を有効にすることで、タッチスクリーンのサポートに状態またはコンテンツへのチャネル(通常は HTML ページ)を 付与します。

DMP をデバイスに接続するには、次の手順を実行します。

DMP の USB ポートからデバイスに接続する B タイプケーブルに USB A を使用します。

外部ボリュームをサポートするためのディスプレイパラメータの設定

### 外部ボリュームをサポートするためのディスプレイパラメータの 設定

ユーザー ロール:管理者(Administrator)

外部ボリューム方式を使用する場合は、RS-232 コマンドを設定し TV に送信してボリュームを変更します(図 12(63 ページ))。

[Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] > [Basic Info] > [Volume Strategy] > [External] をクリックします。

#### 図 12 外部ボリューム方式

ADD MR	Dynamic S	dunde mingra	H C O R H L O	Mannel + 2 A
Devices				
LABORT & DATE	Louise Law	Mauris Print Lin	aland Data landitions	
1-+0			The International Contractory of Con	
Date Sections	-	teast .	Hard Same Annual Property of At-	
Annal Property in	-	Property and per-	the second s	
Theory and stated in	1000	(manufacture)	Discriming Automatical and Automatical Systems	
ADALS: Nevel 1	ing .	Ave	Mary Balance	
http://11.42.312	1000	46.43.570		
1000 million (1000 million (10	1100	16-45,012	Main PCDDRE-012	
mapping the other state.	( paints	99-1276-056	E	
1010-000	10	16.00	Price Pring Control	
101-00-010	100	122.000		
Denney Million of Con-	Second .	(max) 6.		
Security Security	(mark)	1001000		
Barg-Ref-1,0000.	See.	1 (100 - 100 m		
BAR-912 2001100	them .	1.000.000.00		
Service American	iner.	1 ALC: NO. 1		
Service Section.	dare -	100.000.00		
Day Ch. Latter	ine .	10,000		
Barriel 201910	teres.		1	
Superior and them	formal .	- arrest.		

注: 内部ボリューム方式を使用する場合は、ボリュームコマンドを設定する必要はありません。

Cisco Vision Director では、次の2種類のボリューム制御を設定できます。

- Relative(相対):TVに設定されている(モデルごとに異なる)音量増分に依存する。
- Absolute(絶対):推奨方法。最小と最大のボリュームレベルの間でボリュームを制御するために使用される、いくつかの 増分を定義する。
  - SV-4K の場合:絶対ボリュームは、一連の Volumen コマンドにだけで設定されます。

表 5(64 ページ)に、相対タイプと絶対タイプの外部ボリューム制御の設定に使用されるディスプレイパラメータについての 情報を示します。 外部ボリュームをサポートするためのディスプレイパラメータの設定

#### 表 5 外部ボリュームをサポートするためのディスプレイパラメータ

表示パラメータ	ボリューム タイプ	説明		
Volume <i>n</i>	Absolute	ボリューム増分レベルを指定します。ここで n は、1 からサ ポートされるボリュームレベルの総数までの数値です。		
		サポートされる増分の数に対して複数の Volumen コマンド を設定します。		
		"n" には、たとえば "1" などの整数を指定する( "01" とは しない )。		
		<b>ヒント</b> :ベスト プラクティスは、Volume1 をゼロより大きい 値に設定することです。ボリューム レベル ゼロは mute コ マンドとして処理され、ユーザーがボリュームを上げると、 一部のディスプレイではボリュームが上がったことを示す ステータス バーが表示されますが、ディスプレイはミュー トされたままとなります。		
VolumeUp	Relative	TV の内部設定によって決定される増分ボリューム設定を指 定します。		
VolumeDown	Relative	TV の内部設定によって決定される増分ボリューム設定を指 定します。		
VolumeCount	絶対	使用可能なボリュームレベルの総数。		
ー部の TV では、ボリュームの増分/減分はごくわずかであるため、目標とする効果を達成するには複数の VolumeUp または VolumeDown コマンドが必要です。これらの TV には、 <b>dmp.RelativeVolumeSteps</b> ディスプレ イパラメータを使用します。				
dmp.RelativeVolumeSteps	Relative	赤外線リモコン( または IP Phone )でボリュームの上下ボタ ンを押すたびに、VolumeUp または VolumeDown に対して RS-232 コマンドを繰り返す回数を指定します。デフォルト は 1。		
		たとえば、この値を 8 に設定すると、VolumeUp または VolumeDown コマンドは 8 コピー分の RS-232 文字列を送 信します。		
dmp.SerialDelay	Relative	メディア プレーヤーからシリアル コマンドを繰り返し送信 する間の遅延を指定します。デフォルトは 5000 ms です。		
		このコマンドは、繰り返しのシリアル コマンドの送信が近 接しすぎている場合にそれを破棄する特定の TV ディスプ レイに使用できます。		

表 6(65ページ)に、12の増分を使用する絶対音量制御に対して定義される RS-232 コマンド文字列の例を示します。

#### 表 6 ある LG TV ディスプレイモデル用のボリュームカウントコマンドの例

シリアル コマンド	文字列
Volume1	rs232.tx_hex=6B662030312030350D
Volume2	rs232.tx_hex=6B662030312031300D
Volume3	rs232.tx_hex=6B662030312031350D
Volume4	rs232.tx_hex=6B662030312032300D
Volume5	rs232.tx_hex=6B662030312032350D
Volume6	rs232.tx_hex=6B662030312033300D
Volume7	rs232.tx_hex=6B662030312033350D
Volume8	rs232.tx_hex=6B662030312034300D
Volume9	rs232.tx_hex=6B662030312034350D
Volume10	rs232.tx_hex=6B662030312035300D
Volume11	rs232.tx_hex=6B662030312035350D
Volume12	rs232.tx_hex=6B662030312036300D

# TV ディスプレイ バナーの設定方法

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- ディスプレイ入力名の設定(65ページ)
- TV ディスプレイ バナーの無効化(67 ページ)

### ディスプレイ入力名の設定

TV ディスプレイ バナーは、ディスプレイ上部に一時的に表示されるグラフィカル バナーであり、TV コマンドを受け取った TV についての情報が表示されます(図 15(66 ページ))。

TV ディスプレイ名を画面に表示されるように設定するには、次の手順を実行します。

- 1. [Configuration] > [Luxury Suites] をクリックします。
- 2. [+] アイコンをクリックして、ラグジュアリースイートを追加するか、既存のラグジュアリースイートを選択します。
- 3. 必須フィールドに入力します。
- 4. [保存 (Save)] をクリックします。

- 5. [Location Assignment] タブをクリックします(図 13(66 ページ))。画面に [Assigned Locations] パネルと [Available Locations] パネルが表示されます。
- 6. 右側のパネルで [Location Name] を強調表示し、[Assign Location] をクリックします。割り当てられたロケーションが [Assigned Locations] パネルに表示されます。
- 7. [Edit] 鉛筆アイコン )をクリックします。[Edit Display Label] ボックスが表示されます(図 14(66 ページ))。
- 8. [Display Label] フィールドに名前を入力します(この例では Main (図 15(66 ページ)))。

#### 図 13 ラグジュアリースイートのロケーションの割り当て



#### 図 14 ディスプレイ名の設定



9. [Save] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

10. [Save] をクリックして、スイートの設定を保存します。

注:次のコンテンツのプッシュまたは DMP の再起動まで、変更は DMP に反映されません。

このディスプレイバナーはデフォルトで有効になっており、赤外線リモコンで制御する場合の継続時間は 5 秒です(図 15 (66 ページ))。

#### 図 15 TV ディスプレイ バナーと画面 ID



### TV ディスプレイ バナーの無効化

ユーザー ロール:管理者(Administrator)

ビデオ ウォール ディスプレイの視覚的エクスペリエンスを高めるため、TV ディスプレイ バナーを無効にします。TV ディス プレイ バナーは、デフォルトではすべての TV ディスプレイで有効になっています。

TV ディスプレイ バナーをグローバルに無効にするには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [System Configuration] > [Advanced Registry Settings] をクリックします。

スクロールして localControl.banner.disable が追加されているかどうかを確認します。値が true でない場合は、[Edit] をクリックします。

- 2. [Registry Data] ボックスで、[+] Add )をクリックします。[Create Configuration Setting] ダイアログボックスが表示されます。
- 3. [Key] フィールドに「localControl.banner.disable」と入力します。
- 4. [Value] フィールドに「true」と入力します。
- 5. [Save] をクリックします。